

令和5年

目黒区教育委員会

第3回定例会会議録

(令和5年1月24日開催)

第3回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和5年1月24日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 覚
	教育委員会委員	若井田正文

出席職員	教育次長	谷合祐之
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校運営課長	香川知子
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	石邑由紀子
	統括指導主事	工藤邦彰
	生涯学習課長	高山和佳子
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		田 渕 明 美
		森 高 健二郎

(議事日程)

日程第1	報告事項	令和5年度組織改正(第二次)及び職員数内示について
日程第2	報告事項	令和4年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について
日程第3	報告事項	令和5年度教育行政運営方針(素案)について(案)
日程第4	報告事項	令和5年度以降の児童生徒数・学級数の推計等について
日程第5	報告事項	令和4年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第6	報告事項	区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和5年第3回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、川嶋委員です。それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和5年度組織改正(第二次)及び職員数内示について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 令和4年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 委員 今年も中止だと思っていたので、実施するとのことによかったです。子どもたちの励みになると思います。来年度は、庁舎で実施できることを期待しています。
- 教育政策課長 表彰式の会場については、コロナ禍前は総合庁舎2階の大会議室で実施していましたが、現在は感染症対応のため保健所の執務室になっています。今後も施設の状況等を踏まえ、適切な場所で表彰式を実施していきます。

- 教育長 その他ご質問等ありますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 令和5年度教育行政運営方針(素案)について(案)(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 委員 4ページの1-3の「現代的な諸課題に関する教科等横断的

な教育の推進」と、12ページの1-3が削除となっています。説明では他のところに整理をしたということですが、この現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育の推進は、現行の学習指導要領においても非常に重要視されており、カリキュラムマネジメントを通してこの教育の推進を充実させるよう総則にも明記されています。

これをなぜ削除するのでしょうか。他のところに整理してしまうと、学校の心証も異なってくると思います。項目が消えてしまったため、取り組まなくてよいという誤解を与えかねませんので、理由を教えてください。

○教育指導課長 現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育の推進については、各校が教育課程に位置付けて取り組んでいく必要があると認識しており、事務局では「めぐろ学校教育プラン」に位置付け、主権者教育等、現代的な諸課題に対応した教科等横断的な教育の推進に関する資料を作成しているほか、教員研修においても取り扱い、各校の取組を支援してきたところです。

現在、各校では令和5年度の教育課程の編成作業を進めているところですが、届出の際は補助資料も作成するよう指導しており、その中には、現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育にどのように取り組んでいるかを示す計画も作成のうえ、提出することとしています。また、提出する計画の基本書式は、管理職を含む教員等を委員として組織する「教育課程委員会」において、数年かけて作り上げており、この計画に基づいて取り組むことにより、教科等横断的な教育の定着を図ることができているものと捉えています。

今後は、教育課程の実施状況を確認していく中で、現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育を、学校全体での取組としてカリキュラム・マネジメントできるよう、指導・助言していきます。

これらのことから、令和5年度の教育行政運営方針では、独立した項目として立てるのではなく、「確かな学力の向上」や「ICTの活用」といった取組を進める中で、現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育も合わせて指導・助言をするという考え方から、項目としては削除したところです。

○委員 学校の中に位置付けが定着したためとの説明ですが、この教科等横断的な教育は、子どもたちが自分で考え、自分で表現し、

自分で行動し、家族の一員や社会の一員としてより良い社会を築くうえで重要な取組です。

現実社会では、教科ごとに課題が分かれているのではなく、教科等横断的な問題や課題が多々あり、様々な困難が待ち受けています。だからこそ現代的な諸課題に関する教科を超えた力、総合的な力を身に付けさせるために学習指導要領に明記されたと考えています。

学校の中での位置付けができたという説明でしたが、項目が削除されるということと、元々項目がなく、別のところに含まれているというのは、意味合いが全く異なると思います。

学校は、項目が削除されることにより、教育委員会がこの項目を推進することを弱めたと受け止めるのではないのでしょうか。

ですから、私としては、令和4年度にこの項目が掲載されている以上、削除せずに項目を継続して残したほうがよいと思っています。もう一度検討いただけると嬉しいです。

- 教育指導課長 学習用情報端末を活用した学習など、指導方法そのものの考え方を変えていく際は、重点を置く取組として教育行政運営方針の項目に明示し、強く打ち出していく必要があると考えています。

「教科等横断的な教育の推進」については、一定程度、定着が図られているものと捉えているため、令和5年度の教育行政運営方針の項目としては入れていません。

- 委員 現行の学習指導要領を定める際、この現代的な課題に対する教科等横断的な指導の充実については、多くの議論がなされました。

学校が教育課程を管理する際に、この指導学習を進めるため、子どもたちが自ら考えていくという時間が大切であることを掲げていますので、項目の記載をぜひ検討してください。

- 教育指導課長 委員ご指摘のとおり、現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育の取組は重要であると認識しています。

事務局では、「めぐろ学校教育プラン」に基づく点検・評価を通じて、各項目の取組状況を確認していますが、現状では具体的な取組状況を把握することは困難です。そこで、他の施策の中の具体的な取組を通して教科等横断的な教育を推進していきたいと考えています。

例えば、小学校では、40分授業午前5時間制の研究を進め

ているところですが、学校の中には、児童自身が現代的な諸課題を選んで学習を進めていくといった特色ある教育活動を研究の柱に据えているところもあります。また、統合による新設中学校のカリキュラムを検討する中で、問題解決型の学習プログラムの研究を進めている例もあります。

これらの研究は、現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育としても重なる部分があります。このように具体的な方策と合わせて取り組むことで、学校への支援も充実させることができ、また焦点化した点検・評価を通じてカリキュラム・マネジメントの改善にも繋げられるものと考えています。

○教育長

只今、現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育の推進については、学校でも考え方が定着してきたため、令和5年度教育行政運営方針の項目から除いた旨の説明があり、それに対して委員から、今の学校教育を進めるうえで、この教育の推進は肝要な部分である旨の意見がありました。

私も二人と同じことを考えつつ、違う表現を検討していました。この項目を施策1の他の項目と並列することはバランスを欠くため、項目ではなく、より大きな概念として、資料3ページの施策1の「現状・課題」の部分に記述するのはいかがでしょうか。

また、資料4ページの1-2は、昨年度から「ICTを活用した教育の充実」となっていますが、ICTを活用した教育の充実は、タブレット学習による学力向上のためだけに使用されるわけではなく、健康の保持や体力の向上にも活用されていますので、「確かな学力の向上」、「豊かな心の育成」及び「健やかな体の育成」を支えるものとして位置付けるため、「ICTを活用した教育の充実」を1-4に置いたほうがよいと思いました。以上の2点について検討をお願いします。

○教育長

その他ご質問等ありますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4

令和5年度以降の児童生徒数・学級数の推計等について(報告事項))

○学校運営課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 委員 単学級学年とはどういう学年のことでしょうか。
- 学校運営課長 1学年に1学級しかない学年のことです。
- 委員 小学校の児童数は少子化により年々減ってきている一方、中学校の生徒数が増えてきます。この推計予想は、学校統合による影響のためでしょうか。
- 学校運営課長 学校統合による影響ではないと考えています。東京都の人口推計は、出生率や学齢児童数の状況等を踏まえて算出されており、児童数の減少傾向は、低学年から始まっています。
- そのため、令和9年度までは児童数の減少傾向が中学校には反映されておらず、今後、小学校低学年の子どもたちが中学校に入学する時期の推計では、生徒数も減少傾向が現れてくると考えています。ただ、今後の転出入の動向や、在籍率等の状況にもよるため、注視していきます。
- 委員 中学校の生徒数の推計値には、国公立や私立に行く生徒数も勘案されているのでしょうか。
- 学校運営課長 東京都の推計では、その学校への入学率等を踏まえて推計がなされており、国公立の学校への入学動向も踏まえたうえでの推計値となっています。
- 教育長 その他ご質問等ありますか。
- 特にないようですのでこの報告を受けました。
- 次に日程第5を議題とします。

(日程第5 令和4年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

- 統括指導主事 (資料により説明)
- 教育長 ただいま統括指導主事から説明のあったとおり、本日も卒業式祝辞の具体的な文案に関する協議となります。
- それでは、委員の方からご質問を含め、ご意見をいただきます。
- 委員 とても分かりやすい文章で、また読み手が語りかけるような話し方でしたので、とてもよかったです。ただ、小学校の祝辞の⑥の段落から⑦の段落に移るところで、はなむけの言葉として「どのようなときであっても、前向きに考え、自らを信じ続けることの大切さについてお話しします」とありますが、話が突然昨年のもとなるのが気になりました。文頭に「昨年ワー

ルドカップが催されました」などの文言を加えた方がより分かりやすくなると思います。

○教育長

その他ご質問等ありますか。

それでは、いただいたご意見を持ち帰り、それを基にして、文案にまた必要な修正を施し、次回最終案という形でお示します。よろしくお願ひします。

以上でこの報告を受けたこととします。

次に日程第6を議題とします。

(日程第6 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について(報告事項))

○学校運営課長 (資料により説明)

○教育長

この件についてご質問等ありますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長

その他なにかありますか。

以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時32分閉会)